

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。



発行所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟  
電話代表 086-271-7175  
FAX 086-271-4815  
郵便振替岡山01230-9-3532  
発行責任者 岸本 清美  
編集責任者 豊島 始男  
印刷所 西尾総合印刷株式会社  
定価 (郵税共) 年額1,200円  
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

# 岡山県戦没者遺族代表者大会 11月24日(木)に岡山衛生会館で開催

## 岡山県遺族連盟

財務省は九月三十日、平成二十四年度当初政府予算の概算要求を締め切った。

各省庁から提出された一般会計の概算要求額は九十九兆円前後に達し、二十三年度当初予算(九十二兆四千百十六億円)を大きく上回り、過去最大の規模となった。

要求額に上限を設けない「青天井」とした東日本大震災の復旧・復興経費と、成長分野に重点配分する特別枠「日本再生重点化措置」に約二兆円の要求が集まったことから膨らんだ。政府は特別枠を七千億円規模とする方針であり、財務省は十月以降繰込み作業に入り、十二月下旬の予算案決定を目指すことにしている。



昨年末の岡山県戦没者遺族代表者大会 (11月28日：岡山衛生会館)

や、旧ソ連地域の遺骨帰還事業等の集中的な実施更には、平成二十二年度からの「硫黄島からの遺骨帰還のための特命チーム」の検討に沿って、硫黄島での遺骨帰還事業を引続き実施するなど、すべての地域で可能な限り速やかに遺骨が帰還できるように予算要求をしている。

町内の「岡山衛生会館」三木記念ホールに県下各支部遺族代表約七百名の参加を求め、岡山県戦没者遺族代表者大会を開催する。

### 平成24年度遺族処遇改善項目 【平成23年9月30日概算要求】

#### ◎恩給法関係

総務省人事・恩給局は恩給を支給するために必要な経費として、総額五千五百四十五億九千八百万円を要求した。

内訳は恩給費五千五百二十八億二千五百万円と支給事務費十七億七千三百万円である。

#### ◎厚生労働省関係

厚生労働省社会・援護局から提出された概算要求は、恩給に関連する遺族年金等の他は次のとおりである。

一、遺骨帰還等関係  
要求額 十五億七千九百万円(内、旧ソ連地域

各支部遺族会においても、遺族処遇改善の各項目が平成二十四年度政府予算に計上されるよう、地元選出国会議員に対し、理解と協力を求める陳情運動を実施していた。特段のご尽力をお願ひする。

概算要求に計上されている遺族会関係項目は別掲のとおり。

の慰霊事業等二億六千三百万円。平和を祈念するための硫黄島特別対策事業九億八千二百万円)

- (1) 遺骨帰還関連事業 (十六地域)  
①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマルク・ソロモン諸島、④パラオ、⑤インドネシア、⑥ミャンマー、⑦沖繩、⑧硫黄島、⑨モンゴル、⑩ハバロフスク、⑪ザバイカル、⑫沿海、⑬イルクーツク、⑭クラスノヤルスク、⑮プリアート共和国、⑯カザフスタン共和国

- (2) 海外未送還遺骨の集

## 硫黄島慰霊巡拝

- (3) 中的な情報収集事業 慰霊巡拝地域 (十二地域)  
①フィリピン、②東部ニューギニア、③マーシャル・ギルバート、④マリアナ諸島、⑤トラック諸島、⑥北ボルネオ、⑦中国、⑧硫黄島、⑨ハバロフスク、⑩沿海、⑪ザバイカル、⑫イルクーツク

二、戦没者遺児による慰霊友好親善事業  
要求額 二億八千三百万円(内、民間建立慰霊碑等整理事業一千百万円)\*広域地域 十四地域七百九十二人  
\*特定地域 三地域百八人  
三、全国戦没者追悼式挙 行経費  
要求額 一億三千五百万円(一県あたり国費参列者五十人の二千三百五十人)  
四、昭和館の運営費  
要求額 四億三千八百万円

日本遺族会では、平成二十三年度事業として硫黄島戦跡慰霊巡拝を計画しています。参加ご希望の方は県遺族連盟までお申し込み下さい。

※募集人員を上回った場合は選考となります。  
▼参加資格 硫黄島及び硫黄島周辺海域の戦没者の遺族(妻、遺児、孫、兄弟姉妹、甥・姪等)  
▼参加費用 約六万円  
※参加人数により費用は異なります。また、自宅から集合場所間の往復交通費などは別途個人負担となります。  
▼申込締切 十一月九日(水)日遺締切

募集人員 五十人



# 平成23年度第一回研修会を実施

## 岡山県遺族連盟女性部

県連盟女性部は十月十三日(木)、平成二十三年度第一回目の研修会を広島市及び呉市方面で実施した。女性部活動の現況と今後の課題など、当面する諸問題について研修を行うと共に、広島護國神社、広島平和記念公園、呉海軍墓地を巡った。

会場でまとめられた「本会への提言」について、それぞれ報告・説明を行った。

県連盟女性部の平成二十三年度第一回研修会には県下各支部から女性部長ら四十名が参加。午前八時三十分岡山駅西口をバスで出発した一行は、最初の目的地である広島護國神社に向かう間、

車中で「当面する諸問題」について研修を行った。先ず近常副会長が、遺族運動並びに組織・財政など、今後の遺族会の在り方を検討するために県遺族連盟に設置する「特別委員会」について報告した。遺族運動並びに組織の運営など諸課題が山積する現状を説明した。続いて秀平女性部長が女性部活動の現況、藤原女性部副部長が八月二十三日・二十四日に開催された日本遺族会女性部研修

部のご奉仕をいただき感謝の声を上げながら神社を後にした。

市内で昼食・休憩後、広島平和記念公園へ。全国各地からの修学旅行生徒で混雑する中、先ず原爆慰霊碑に参拝し、続いて同資料館を見学。資料館では悲惨な原爆の実態を目の当たりにすると共に、改めて平和の尊さ有り難さを実感する。そして、広島呉道路を経由して呉市の丘陵地に設置されている呉海軍墓地へ。同市上長迫の公園内にある墓地前にて呉觀光ボランティア会長の山元氏の出迎えを受け、墓地の沿革や各慰霊碑についての説明をいただいた。



広島護國神社へ参拝



山元氏から説明を受ける参加者 (呉海軍墓地)

説明によれば、同墓地は明治二十三年に海軍軍人の戦没者・奉職者等の

### 平成二十四年版

## 「靖國カレンダー」

英霊にこたえる一億国民のこころを結集しよう

東京・九段の靖國神社には、わが国の危急存亡に際して、国家国民のために一命を捧げられた二五〇万もの戦没者英霊が祀られています。

「靖國カレンダー」は、この尊い英霊の真心に思いをいたし、私たち国民の一人ひとりが感謝の誠を捧げる輪を広げる国民運動の一環として、昭和五十一年以来刊行しています。戦後も六十余年が経過し、次代を担う青少年の皆さんにも、英霊とは、靖國神社とは何であるのか、また、わが国が明治維新以降、直面した戦争・事変の正しい歴史を伝える教材になるよう企画しています。

是非「靖國カレンダー」を家庭に掲げてご利用いただきます様、遺族会の皆様方のご協力をお願いいたします。

英霊にこたえる会岡山県本部  
会長 岸本清美



#### 【靖國カレンダーの内容】

\* 英霊にまつわる写真と逸話を掲載しています。

\* 大きさは、縦54・5cm×横36cm

#### 【維持会費】

一部 五〇〇円(別途送料が必要です)

#### 【お申し込み先】

※各支部で一括注文される場合は一部四〇〇円です。  
カレンダー送付先の住所、氏名、電話番号、注文部数を左記県本部までご連絡下さい。

〒七〇三・一八二七二 岡山市中区奥市三二一 岡山県護國神社内

「英霊にこたえる会岡山県本部」

電話 〇八六一二七二一三〇一七

FAX 〇八六一二七二一三〇一六



# 岡山県戦没者秋季慰霊祭

## 知事をはじめ来賓多数列席のもと 厳粛盛大に執り行われる



祭儀終了後、参列者に挨拶をする石井岡山県知事 (10月5日：県護國神社)

埋葬地として呉市に設置されて以来、海軍呉鎮守府により管理され、毎年慰霊祭が催されていたが、昭和二十年七月の米軍の空襲や同年九月に呉方面を襲った大水害により墓地全体が廃墟と化し、慰霊行事も敗戦により全て廃止されていきました。戦後、呉地方復員局・地元有志らの懸命の努力により同墓地は復旧さ

れ、以降、自分だけ生き残って申し訳ない」との思いにかられる生存者や有志・地域住民の奉仕により清掃と供養が続けられてきました。やがて戦後の混乱期が過ぎ、社会・経済が安定してきた昭和四十年頃より、生存者や遺族の手により「慰霊碑」が相次いで建立されました。開設以来百二十年、十

三万余柱の御霊が眠られる同墓地は、各艦船、部隊毎の慰霊碑九十一基、個人碑百五十七基、英国水兵の墓一基が建立され、日本帝国海軍の歴史を刻んだ史跡遺産でもあります。現在は「財団法人呉海軍墓地顕彰保存会」が管理・運営を行っているとのこと。参加者は山元氏の先導により公園の斜面に建立

されている各慰霊碑や個人墓を巡り、祖国の安泰を願って散華された戦没者ご英霊の勲を偲び、感謝の誠を捧げて帰路に就いた。帰りの車中において、秀平女性部長が県護國神社参拝の推進・啓蒙運動を提言すると共に、第二回目の研修会を明年二月に行うことを報告。そして「靖國神社の歌、ふる

さと」を合唱、午後六時三十分、岡山駅前到着し研修会を終了した。また、県遺族連盟では十月十五日(土)に県遺族連盟役員並びに市郡遺族連合会事務担当者合同会議を県護國神社「いさお会館」で開催、研修会終了後、神社境内の清掃奉仕を実施した。紙面の都合上、詳細は次号に掲載いたします。

十月五日、恒例の岡山県戦没者秋季慰霊祭が、岡山県戦没者顕彰会(河本勉会長/岡山県議会議長)主催により県護國神社

社で執り行われ、あいにくの雨模様ながら県下各地方から約千三百人が参列した。慰霊祭は笹井宮司ら祭

員の奉仕をいただき、吉備舞などが奉納された後、石井正弘岡山県知事ら各界代表が神前に玉串を捧げ、五万六千七百余柱の戦没者ご英霊の冥福をお祈りし感謝の誠を捧げた。また、翌六日には県護國神社秋季例大祭が執り行われた。

五・六日の両日、参拝をいただいた各界の方々は次のとおりです。今後は戦没者ご英霊の慰霊顕彰にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- ▼岡山県議會議長 石井 正弘
- ▼岡山県議會議長 河本 勉
- ▼国会議員 逢沢 一郎 (夫人) 平沼 赳夫 (代理) 村田 吉隆 (代理) 加藤 勝信 (代理) 阿部 俊子 (代理) 柚木 道義 (代理) 高井 崇志 (代理) 片山虎之助 (代理) 姫井由美子 萩原 誠司 (前)
- ▼岡山県議會議員 戸室 敦雄 岡崎 豊 蓮岡 靖之 佐藤 真治

- 波多 洋治 蜂谷 弘美 遠藤 康洋 浅野 實 太田 正孝 江本 公一 三宅 和宏
- ▼市町村長 大森 直徳 (和気町) 山崎 親男 (鏡野町)
- 花房 昭夫 (奈義町) ▼岡山県市長会会長 西岡 憲康 (備前市/代理) ▼市町村議會議長 河部 辰夫 (真庭市) ▼市町村議會議員 三木 亮治 (岡山市) 松島 重綱 (〃) 和気 健 (〃)
- 河田 紘 (鏡野町) 原 章倫 (〃) 井戸 賢一 (奈義町) ▼岡山神社庁副庁長 新庄 正安 ▼岡山県偕行会会長 岡本 巖 ▼山陽新聞 社会事業団常務理事 矢吹 悦次

涙して下さるな 海軍一等機関兵 安藤 照太郎

昭和十三年十月十六日 中華民國湖北省西塞山にて戦死 福岡県京都郡豊津村出身 二十四歳

また、参列者の受付・接待、境内の交通整理や募金運動など、早朝よりご奉仕をいただきました皆様方に心からお礼申し上げます。

此れが臨地に向ふ私の唯一の御願ひです。笑って迎へて下されば、此に越した喜びは御座いません。呉々も涙して下さらざる様御願ひ致します。取り急ぎの為、乱筆ながら御通知まで。明年は出港の予定。御機嫌よう。元氣で行って参ります。昭和十三年八月十九日 御両親様 膝 下

暑さも盛りを過ぎて、心持ち涼味を感じる頃ともなりました。其の後、皆様には御機嫌麗はしく御過しの御事と存じます。御陰様にて身体は益々頑健にて御座いますれば御放念に下され度。今迄不遇な運命にありましたる私も時機到来、或る方面に転勤する事になりました。御老体の両親様並、三ちゃんや良ちゃんには御身体に特に留意せられ、二人には元気に勉強せられる様に。一度戦地へ臨む上は、軍人として愧ぢざる行ひは心に銘じて居りますれば、御安心下され度。終りに臨み特に御願ひ致し度は、不幸にして聖戦半ばにて斃るとも、家に在りて必ず涙して下さるな。 膝 下 (原文のまま) 【平成二十三年十月 靖國神社頭掲示】



# 追悼の言葉

岡山市東区植原

田中 早太

兄、直彦殿  
弟、早太がお迎えにや  
つて参りました。

私が兄さんの戦死を知  
ったのは、命永らえて復  
員した昭和二十二年三月  
のことでした。敗戦後、  
オランダ兵の監視の下、  
ジャワ島に於いて屈辱的  
な重労働に耐えていたの  
です。

思い起こせば昭和十九  
年八月、マッカーサー率  
いるアメリカの大軍は、  
フィリピンの奪還を目指  
して猛反撃に転じ、レイ  
テ島に強行進出して参り  
ました。それを阻止する  
ため、我が軍は捷一号作  
戦を發動。この作戦に参  
加するため、通信省派遣  
の軍属であった兄さん  
は、遙か満州のハルピン  
からフィリピンへ向かわ  
れましたが、ルソン島に  
上陸寸前、乗っていた艦  
船はマニラ湾でアメリカ  
軍の攻撃を受けて轟沈。  
兄さんは名誉の戦死を遂  
げられました。

子供の頃から水泳を得  
意としていた兄さんが、  
艦船もろとも海の藻屑と  
消え果てたかと思うと、  
返す返すも残念で断腸の  
思いで一杯です。

月日が経つのは夢の如  
し。あれから六十有余年  
の歳月が過ぎ去り、世は  
昭和から平成と年号も変  
わりました。父・清一は  
昭和四十六年二月二十六  
日、そして母・照子は昭  
和五十六年八月十六日に  
他界しましたが、兄さん、  
あの世でお父さんとお母  
さんとの再会を果たされ  
たのではないのでしょうか。

私は復員後、妻・喜久  
江と結婚し二人の子を授  
かりました。民子と博子  
は順調に成育し、民子に  
は哲也、敬子、他家へ嫁  
いだ博子は、由、一、よ  
し枝と三人の子供に恵ま  
れ、由には一男一女と、  
私にとつて曾孫にあたる  
子供たちも、それぞれ健  
康で幸せな家庭を営んで  
いるところです。

た。今、この様に平和な  
日々をおくることができ  
るのは、兄さんをはじめ、  
ご先祖様の御加護による  
ものと、唯々感謝の気持  
ちで一杯です。

散り給う 御霊安かれと  
祈りてやまぬ」  
平成二十三年九月二十  
九日 マニラ湾にて  
——田中さんは、九月二  
十四日から同二十九日の  
日程で実施した県遺族連  
盟主催外国地域（東部ニ  
ューギニア）戦跡慰霊巡  
拝に参加。巡拝最終日の  
二十九日、帰国経由地の  
フィリピン・ルソン島の  
マニラ湾で亡き兄に追悼  
の言葉を捧げられました。

## 岡山陸軍墓地の清掃



清掃奉仕に参加された津高遺族会の皆さん  
(9月18日：岡山陸軍墓地)

秋の岡山陸軍墓地彼岸  
祭を前にした九月十八日  
の日曜日、津高地区遺族  
会恒例の墓地清掃奉仕を  
実施いたしました。

台風十五号の接近への  
備えや、地元で「マスク  
ット祭」が開催されるな  
ど何かと多忙な時期のた  
め、何時もより参加され  
る方が少ないのではない  
かと心配していましたが、  
当日は人見会長を含め二  
十一名が参加しました。

早い人はやはり三十分以  
上も前に来られて作業を  
始める方もおられます。  
また、今日の都合がつか  
ず、前以てお墓に花を手  
向けていただいた方もお  
り、只々感謝するばかり  
であります。

例年にも増して残暑厳  
しい中、今日の平和への  
感謝と作業の安全を祈願  
し、手分け等の打ち合わ  
せ後、作業に入りました。  
今回も叔父が戦死され  
ているという若いご婦人  
のご参加をいただきました

## 遺族会の動き

### 平成二十三年十月行事表

- 4日 浅口市戦没者追悼式（浅口市中央公民館）
- 5日 岡山県戦没者秋季慰霊祭（県護国神社）

- 5日 高梁市高梁遺族会護国神社参拝（県護国神社）
- 6日 岡山県護国神社秋季例大祭（県護国神社）
- 8日 新見市神郷地区戦没者追悼式（神郷地域福祉C）
- 11日 岡山県ビルマ会秋季大祭（岡山市・蓮昌寺大仏殿）
- 13日 日遺支部事務局長・職員研修会（栃木県・一泊）
- 14日 高梁市宇治地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 15日 真庭市北房地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 17日 笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 18日 県連盟役員・市郡遺族連合会事務担当者合同研修会／県護国神社境内清掃奉仕（いさお会館会議室及び神社境内）
- 19日 岡山市瀬戸遺族連合会役員研修旅行（呉市方面）
- 20日 総社市遺族連合会役員会議（総社市総合福祉C）
- 21日 靖国神社秋季例大祭（靖国神社）
- 22日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭（東京千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
- 23日 新見市哲西地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 24日 笠岡市城見地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 25日 笠岡市大井地区戦没者慰霊祭（大井公民館）
- 26日 新見市哲多地区戦没者慰霊祭（哲多総合C）
- 27日 新見市熊谷地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 28日 赤磐市戦没者追悼大会（赤磐市吉井会館）
- 29日 新見市大佐地区戦没者追悼式（おさ総合C）
- 30日 浅口市新見庄町遺族会護国神社正式参拝（県護国神社）
- 31日 新見市新見地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 1日 戦没者遺族相談員研修会（岡山市・ヒュアティーマきび）
- 2日 久米郡美咲町戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 3日 井原市井原支部遺族会役員研修会（愛知県方面 一泊）
- 4日 県連盟特別委員会（県連盟会議室）
- 5日 英田郡西栗倉村戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 6日 総社市戦没者追悼式（総社市民会館）
- 7日 美作市戦没者追悼式（美作文化C）
- 8日 岡山市足守地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 9日 津山市高田地区戦没者慰霊祭（高田神社忠魂碑）
- 10日 真庭市藤山支部戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 11日 岡山市御津遺族連合会靖国神社団参（東京方面 二泊）

### 平成二十三年十一月行事表

- 1日 新見市豊永地区戦没者慰霊祭（県護国神社）
- 2日 日遺監事会（九段会館）
- 3日 岡山県戦没者追悼式（瀬戸内市保健福祉C）
- 4日 瀬戸内市遺族連合会靖国神社団参（瀬戸内市保健福祉C）
- 5日 都窪郡早島町戦没者追悼式（早島町中央公民館）
- 6日 岡山市上道地区戦没者慰霊祭・総会（県護国神社）
- 7日 真庭市富原地区戦没者慰霊祭（若代八幡神社忠魂碑）
- 8日 倉敷市戦没者追悼式（倉敷市民会館）
- 9日 岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）